

N I E 研究テーマ

「新聞を通して学び合う子どもたち」

指定校 2 年次 茅野市立金沢小学校 渡部 顕治 久保田 智 岡本 二葉

I 本校の N I E の現状と実践のねらい

本校は2016年度、N I E 指定校 2 年目を迎えた。昨年度は 4, 5, 6 年生で「新聞作りを通して、文章表現力を伸ばす」、「新聞に親しむ」の 2 つを中心に N I E 研究に取り組んだ。

「新聞作りを通して、文章表現力を伸ばす」ことでは、実際の新聞記事から文章の書き方を学んだり、伝える相手を意識して文章を書いたりしたことで、自分の伝えたいことが読み手に伝わりやすい文章を書くことができるようになった。「新聞に親しむ」ことでは、スクラップや新聞学習シート（新聞記事を読み取る学習）を継続的に行うことで、新聞がより身近に感じられるようになった。自分が興味関心を持っていることの情報を集めるために、新聞を意欲的に読む姿も見られるようになった。

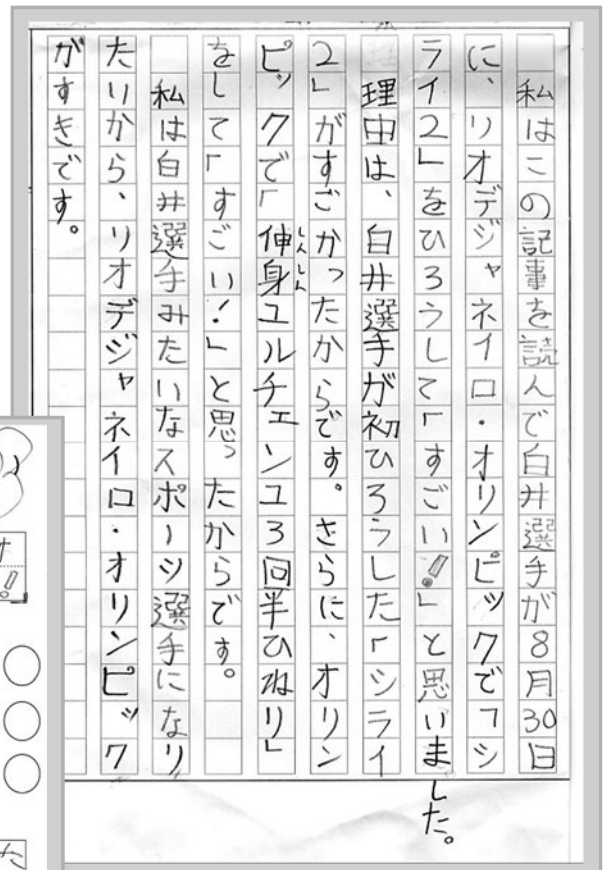
2016 年度は、さらに新聞を「日常的に」「簡単に」使うことを目指して、4, 6 年生で研究を進めた。中でも「新聞で学ぶ」ことを中心に取り組み、新聞を読むことで、知識を広げたり、世の中を知ったりするだけでなく、授業で学習していることや自分自身が社会とつながっていることを感じてほしいと願っている。

また、本校では日々の授業の中に「学び合い」学習を取り入れている。従来の一斉学習や講義形式ではなく、少人数グループでお互いの考えを「聴き合い」ながら、主体的に学習を深めていくことを目指し、授業改善に取り組んでいる。「学び合い」学習の中での新聞の有効活用についても探っていこうと考えた。

II 実践内容

◆記事紹介（4 年）

スクラップに取り組むスタートとして、国語の時間に記事紹介をした。自分が気になった記事を読んで、ペアになって感想などを伝え合った。初めて新聞に触れた子が多く、記事を選ぶ時間を 1 時間設けたところ、紙面をめくりながら気になる記事をじっくり読んだり、記事に関する話題で友だちとの会話が盛り上がりたりした。また、記事を紹介する文章を書く場面では、昨年度の実践（新聞作り）で「結論を書いて根拠を書く」ために使った「構成カード」をアレンジしたものを使用した。そのため「自分はその記事で友だちに何を伝えたいのか」を明確にして文章を書くことができた。



「わたしが気になった記事」発表カード 名前 (白井)

①記事を読んで考えたこと、思ったことを書こう。

白井選手が8月30日にリオデジャネイロ・オリンピックで「シライ2」をひらうして「すごい」!

②そのように考えたり、思ったりした理由。記事を読んで思ったこと・感想を3つ書こう。

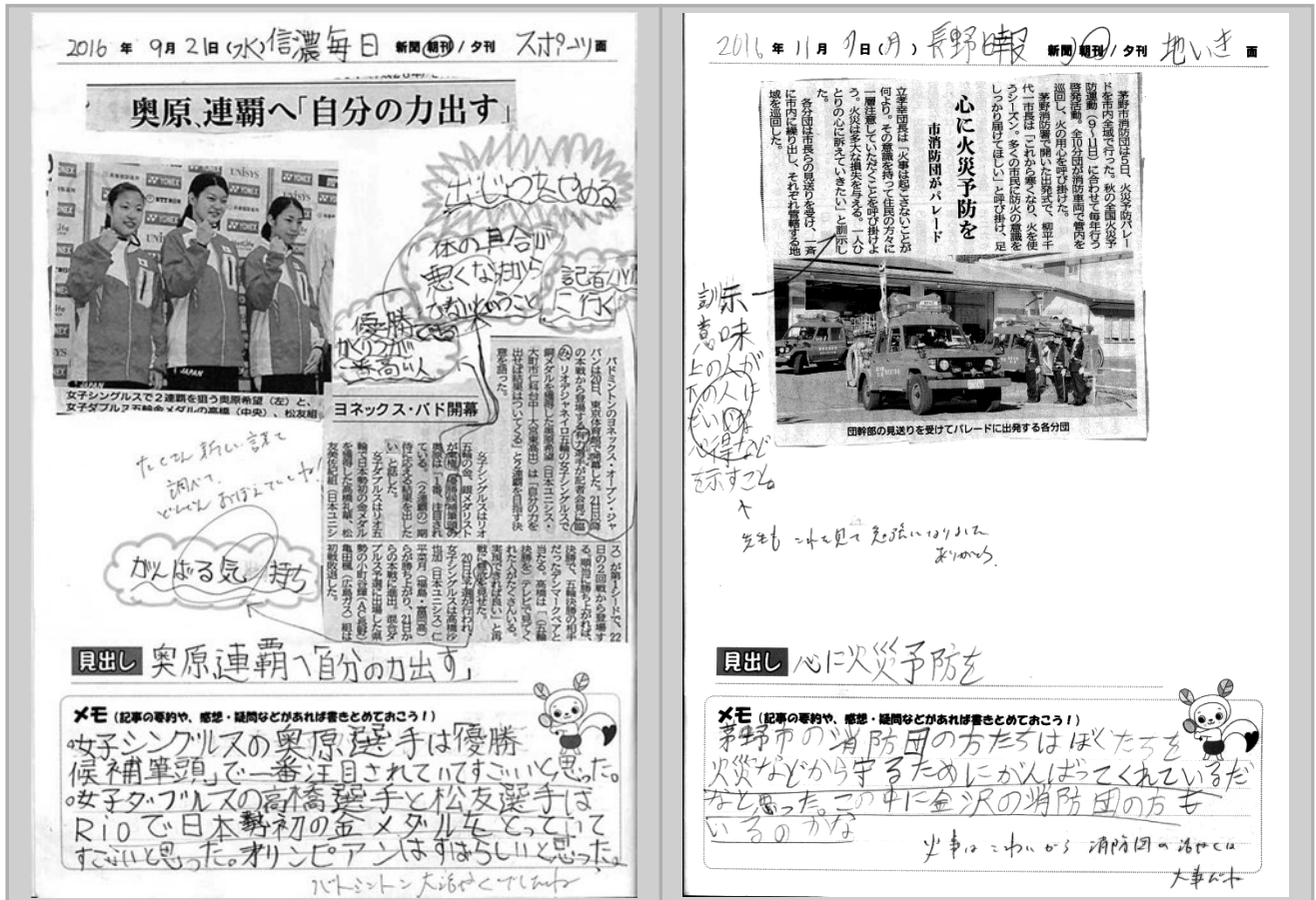
白井選手が初ひらうをした「シライ2」がすごかったから。 ○

オリンピックで「伸身ユルチェンコ3回半ひらき」をして「すごい」と思いました。 ○

③記事を通して自分がしたいこと、これからの自分のことなどを書こう。

私は白井選手みたいになんスポーツ選手になりたいから「シライ2」がすごい。

金曜日のドリルの時間(15分間)に記事を選び、週末の家庭学習で記事を読んだ感想など取り組んだ。新聞に触れられる時間を十分確保することで、様々な記事に目を通し、自分の気になる記事を探すことができた。また、グループにして取り組ませることで、友だちとの間に記事に関する会話が生まれ自分の知っていることを話したり、自分の意見を述べたりする姿が見られ意欲的に取り組んだ。さらに、分からない言葉を辞書で調べたり、お家の人に聞いたりすることで、語彙の獲得につながった。



〈子どもたちのスクラップ〉



〈ドリルの時間に行ったスクラップの様子〉

◆新聞作り

「見出し」は記事の要約であること、記事は読む人に伝わるように結論を先に書き、次に根拠を書く、という逆三角形の構成で書くことなど昨年の実践が生かされた。昨年度の新聞（縄文学習新聞）と今年度の新聞（修学旅行新聞）とを比較してみると、見出しがより具体的に分かりやすく工夫されていた。さらに記事の内容が整理され、結論を書いた後根拠を書くことで分かりやすい記事が書けている。そのことから継続して新聞作り学習に取り組むことで、読み手に伝えるための文章表現力が身についていると感じる。



〈昨年度の新聞〉



〈今年度の新聞〉

◆担任の手作り学習シート

子どもたちが興味を持てる記事を見つけ、担任が学習シートを作成した。子どもたちの実態に合った記事（地元のニュース、学校のニュース、そのときの学習に関係のあるニュースなど）を使用したことで、関心を持って読むことができ、新聞を読む楽しさを味わわせることができた。

- ①劇を鑑賞した茅野市内の4年生は何人ですか。
(55人)
- ②児童達が作った風を感じる衣装は、縄文時代の何に似せましたか。
(貫頭衣)
- ③ファッションデザイナーの浜井弘治さんは、何県何市から来ましたか。
(山口県 下関市)
- ④金沢小の小林菜菜さんは、笑顔でどんなことを話しましたか。
(衣装を着て舞台を見たら見えない風が、体に吹いた感じがした。)
- ⑤この記事の見出しは何ですか。
(風感じたよ)

◆特別活動（キャリア教育）の実践

(1) 単元名 「働くことについて考えよう」

(2) 単元設定の理由

本校の6年生児童は、学校行事やクラスの活動に向けて目標を立て、それに向けて一致団結し取り組んでいくことができる。また、友だちを思いやり、良い姿を認めあったり困っている友だちを助けたりする姿もある。一方で、個人的な夢や目標をもっている児童は少なく、何のために学習をしているのか意識がもてず、意欲的に学習に取り組むことができない児童も少なくない。(キャリア教育の視点)

昨年度、総合的な学習の時間で「縄文学習新聞を作ろう」に取り組んだ。茅野市の国宝である「縄文のビーナス」や「仮面の女神」の2体の土偶について調べたり、土鈴作りの体験学習をしたりした。4年生までに取り組んだ「縄文研究所」で学んだことに加え、体験し、さらに分かったことを校内だけでなく、地域の人や観光に訪れた人にも伝えたいと願い、新聞を作り、市役所や尖石縄文考古館に展示していただいた。さらに、NIE研究指定校1年目として新聞学習に取り組んだことから、信濃毎日新聞の山崎さんに「新聞の書き方」を教えていただきより良い新聞作りを学んだ。

そこで本年度は、働いている人の姿から将来に向けて考えるために、新聞の「人物紹介欄」から働くこと、将来の夢を持つことを意識させていきたい。

このような学習を通して、将来への夢やどんな職業があるかということを意欲的に考えたり調べたりすることを通して、「将来への夢やあこがれをもち挑戦しようとする姿」が育っていくことを願い、本単元を設定した。

(3) 単元目標

身近な人々の働く様子を知ることで、「働くこと」について関心を持たせ、働いている人たちの仕事に対する誇りや思いに気付かせたい。そのことを通して、将来の職業や生き方に夢や希望を抱き、働くことへの意欲を持つことができる。

(4) 単元展開の概要（6時間扱い）

	学習内容・学習活動	○子どもの意識 □指導 評価	時間
はじめ	<p>○身近な家族や地域の人へのインタビューから働くことへの思いや意味を考える。</p> <p>※配慮が必要な児童については、事前に確認しておく。</p>	<p>○お父さんやお母さんはどんな仕事しているかよく知らないな。</p> <p>○お父さんやお母さんはどんな思いで仕事しているのかな？</p> <p>○働くことは大変そうだけど、お父さんやお母さんは仕事をどうしてやっているんだろう？</p> <p>○いつも見ている地域の方は、どうしてあんな大変な事やっているのかな？</p> <p>□身近にいる家族や地域の方の働くことへの思いや意味を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>身近な家族や地域の方の働くことへの思いや意味を考えることができる。</p> </div>	1
なか	<p>○新聞から世の中には様々な職業があることを知る。(様々な記事を読む)</p>	<p>○自分になりたい職業がある。</p> <p>○知らない職業もたくさんあるな。</p> <p>○この職業は聞いたことあるけど、どんなことやっているかは知らないな。</p> <p>○将来就くとしたらこんな仕事がいいな。</p> <p>□世の中には様々な職業があることを押さえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>世の中には様々な職業があり、どのような働きをしているのか知る。</p> </div>	1

	<p>○いろいろな職業の人の生き方を知り、自分の生き方について考える。</p>	<p>○こんな思いや考えがあるから大変な仕事でも頑張っていることができるんだ。 ○働くってこんなに大変なことなんだ。 ○やってみただけではなく、人の役に立てるような仕事に就いてみたいな。 ○自分にはどんな仕事があるのかな。 □働いている人はそれぞれに、いろいろな思いや考えがあって働いていることを押さえる。 □働いている人はそれぞれに違う考えや思いはあるが、共通している部分があることを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 職業に対して自分の考えが深まり、将来の夢や職業に対して考えることができたか。 </div>	1
まとめ	<p>○将来、自分がどんな職業に就きたいか考え、その職業について調べる。</p>	<p>○どの仕事も大変そうだけど、人の役に立てる仕事をしたい。 ○自分がやりたい仕事に就いている人たちはどんな思いでやっているのかな。 ○自分がやりたい仕事は思っていたより大変なんだ。 □一番伝えたいこと、仕事のやりがいは何なのかを調べさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 就きたい職業のやりがいや大変なところについて調べることができる。 </div>	1
	<p>○就きたい職業のやりがいや調べたことを新聞にまとめる。</p>	<p>○一番伝えたいことを見出しにすれば良かったな。 ○取材のポイント（5W1H）がわかった。 ○読む人が目をひくような新聞にしたいな。 □新聞を書くときのポイント(見出し=伝えたいこと)を想起させる。 □読む人が興味をもてるような新聞の構成。 □就きたい職業にはどんなやりがいがあったかを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 読む人を意識して、職業のやりがいを伝えようと、新聞を作り上げることができたか。 </div>	2

(5) 本時案

①主眼

世の中には様々な職業があることを知り、自分の将来の夢や職業に対して興味をもち始めた子どもたちが、働く人のいろいろな生き方からその人たちの気持ちを感じ取り、将来の夢や職業に対して、自分の考えを深めることができる。

②本時の位置 6時間中の3時間

③指導上の留意点

- ・ある程度同じような考えや思いをもっている人の記事を用意しておく。
- ・グループで一人の人物にする。

④展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	指導 評価	時間
はじめ	1. 世の中には様々な職業があることを確認する。	<p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">共有の課題：働く人の生き方や考え方を知ろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりこの職業はかっこいいし、楽しそうだから将来はこの職業に就きたいな。 ・お父さんやお母さんみたいな仕事に就きたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には様々な職業があったことを押さえる。 	5
なか	2. 新聞記事から仕事の内容や働く人がどんな考えや思いをもって働いているのか知る。(グループで一人に絞って)	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな思いや考えがあるから大変な仕事でも頑張っていることができるんだ。 ・働くってこんなに大変なことなんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている人はそれぞれに、いろいろな思いや考えがあって働いていることを押さえる。 	15
	3. 働く人の考えや思いを発表し合い、働くことについて話し合う。	<p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">ジャンプ：働く人の気持ちを感じ取り、働くこととはどういうことか考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働いている人たちは、ただ働いているだけでなく、いろいろと考えているんだ。 ・働く人はみんな同じような考えや思いをもっているんだ。 ・働くことは楽しいだけではないんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている人はそれぞれに違う考えや思いはあるが、共通している部分があることを考えさせる。 ・働くことがどういうことか考えさせる。 	20
まとめ	4. 発表されたことを参考に、将来の夢や職業について再度考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にはどんな仕事があっているのかな。 ・働くには楽しそうとかやってみただけではなく、人の役に立てるような仕事に就いてみたいな。 ・働くことは大変そうだけど、そういうことにやりがいを感じられたらいいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の自分の考えや思いと比べてみての感想を書かせる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 職業に対して自分の考えが深まり、将来の夢や職業に対して考えることができたか。 </div>	5



(6) 反省と考察

○子どもたちが夢を考える良い機会となった。

○グループで一人の人に絞ったことで、文章が読めない児童にとっては安心して学習に取り組むことができた。

●記事を読むことに必要感がない姿が見られた。

→割り当てられた記事では、子どもたちに必要感がなく、自分の夢と置き換えて考えることが難しそうだった。将来就きたい職業や、興味がある職業、記事を自由に選んで、その中から共通の願いや思いを見つけられるようにしておくこと、必要感をもって記事を読むことができたのではないかな。

●職業への考えの深まりが感じられる場面が無かった。

→最初と最後に、自分が将来就きたい職業について、なぜ就きたいのかということを発表させることで、職業に対する考え方が深まったかどうかが見極められるのではないかなと思った。

Ⅲ 本年度の成果と課題

①新聞の日常的な活動

- ・日常的に新聞を楽しむことで、「読む」習慣がついた。
- ・新聞に触れる時間を少しでも確保することで、自ら気になる記事を見つけ、熱中して読む姿が見られた。
- ・新聞を読むことは、社会とのつながりを持ち、知識や考えを広げる一助となった。
- ・理科や社会で、学習と関わって時事的な記事を提示することで、教科書の学習と社会事象とのつながりを感じさせることができた。
- ・先生によっては、新聞は子どもにはレベルが高いのではないかなと感じ新聞を使うことにためらう方もいる。そういった先生に新聞を簡単に使えることを広げていくことが必要。

②書くこと

- ・総合の時間のまとめなど新聞を作る活動機会はたくさんあるが、書く前に「伝えたいこと」や「根拠」などを整理することで、より論理的な文章を書くことができた（構成カードの活用）。教師側も指導がしやすく、短い時間で効果的に指導できる。
- ・新聞作りで活用した「構成カード」は、「意見文」や「読書感想文」など様々なことに応用でき、書くことの指導に役立てることができた。

金沢小学校での新聞教育の今後

3つの「続ける」

- ① **子どもたちが継続して続ける**・・・学年が上がっても変わらず新聞に触れる習慣を続けていく。
- ② **先生が続ける**・・・どの学年を担当しても、「日常的に」「簡単に」新聞を使ってみる。
- ③ **学年で続ける**・・・どの教科のどの単元でどのように新聞が使えるのか、などを次年度に引き継いでいく。